



写真左から 普通科第62期生 井上勇氣 / 普通科第53期生 竹下伸也 / 普通科第55期生 豊田啓司 / 普通科第45期生 大谷弘一郎 / 調理科第33期生 恩田照子  
普通科第64期生 北野快輝 / 普通科第39期生 塚田秀典 / 普通科第42期生 津森康介 / 普通科第45期生 砂流潤一 / 普通科第49期生 浅津ゆうこ

## 2024年、 創立100周年に。

本学園は令和6(2024)年に創立100周年を迎えます。大正13(1924)年に、松江ミシン裁縫女学院として創設され、その後、松江家政高等学校、松江第一高等学校と改称し平成6(1994)年に開星高等学校に改称し、開星中学校を開設いたしました。この間、建学の精神「品性の向上をはかり、社会の発展に役立つ有望な人材を育成する。」のもと、卒業生や地域の皆様方に支えられて発展してまいりました。また、ここに並ぶ教員は本校の卒業生であり、この他にも普通科第44期生 石倉一希さんや、各部活動指導者(コーチ)として多くの卒業生が学園内で活躍しています。

# 活躍する卒業生

## 青春であり、自分の人生の出発点

島根県議会議員  
宍道湖・中海問題等対策特別委員会 委員長  
開星高校一期生

### 野津 直嗣

私は開星高校の第1期生で、部活はサッカー部でした。卒業後は松江市でサッカーのコーチやバンドマンとしても活動し、近年では市議会議員を4期務めていました。学校の中には、キャリア教育という言葉もない時代から、まさしく“熱量のある人と人とのコミュニケーション拠点”がありました。そこで「学問」からは学べなかったであろう、人として大切なことを学んだのではないかと思います。実際に多くの卒業生が今、好奇心と挑戦心を持って松江市内や県内外で活躍している姿に私は出会ってきました。教育の低下が問題視される現代において、母校・開星高校が多くの熱量を放ち続ける学びの場であるために同窓会一丸となって支えていきたいと思っています。



## 先進的な人材育成



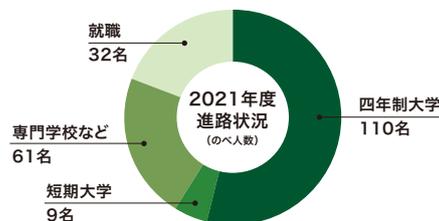
急激に変化する現代社会において必要とされる「探究力」。開星では探究的な学びが常に生徒を取り囲んでいます。自ら課題を見つけ、主体的に考え、行動し、問題を解決する力を育みます。

## 部活の活躍



部活動にも探究活動を取り入れ、自分たちで考える部活動を行っています。各部インターハイ出場や、春夏甲子園13回出場、柔道部・テニス部・陸上競技部で5回全国制覇を果たしました。また、プロバレーボール選手1名・プロテニスプレーヤー1名・プロ野球選手6名など、多くのプロ選手を輩出しています。

## 進学実績



開星の現役希望進路達成率は100%。卒業しても、「なりたい自分」になるための道の途中。卒業生全員が、次のステージで、なりたい自分になるために自分を磨き続けています。



The Ottawa Institute of Education since 1924

## 学校法人大多和学園 創立100周年記念事業募金へ ご協力をお願い

皆様におかれましては、本学園教育活動の充実・発展のために多大なご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

建学の精神「品性の向上をはかり、社会の発展に役立つ有望な人材を育成する。」のもと、多くの卒業生、そして地域の皆様方に支えられて発展してまいりました。今後さらなる生徒への支援の充実と学園のゆるぎない発展に資することを目的に「学校法人大多和学園創立100周年記念事業募金」を募ることとしました。つきましては、この記念事業の趣旨にご賛同いただき、格別のご支援ご協力を賜りたく、心からお願い申し上げます。



## 寄付金の使い道について

本学園に通われる生徒の皆さんの学習環境・生活環境の改善やさらなる充実のために使用いたします。すでに先行して体育館へのエアコン設置などを実現しています。

### 現在の主な用途

鍵付きロッカー、エアコン、自販機の設置

### 今後予定する用途

ドリームアリーナへのエアコン設置、食堂の改修など

お問合せ

学校法人 大多和学園 開星中学校・高等学校 寄附金係  
〒690-0017 松江市西津田9-11-1 ☎ 0852-21-4915

開星中学校・高等学校  
100周年記念特設WEBサイト

